

# 工事写真報告書

工事番号 平成 27 年度

工 事 名 I 様 邸

工 事 箇 所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 小倉南区 横代北町

工 期 着 手 平 成 年 月 日

竣 工 平 成 年 月 日

工事施工者 **ベストホーム株式会社**



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---



破風

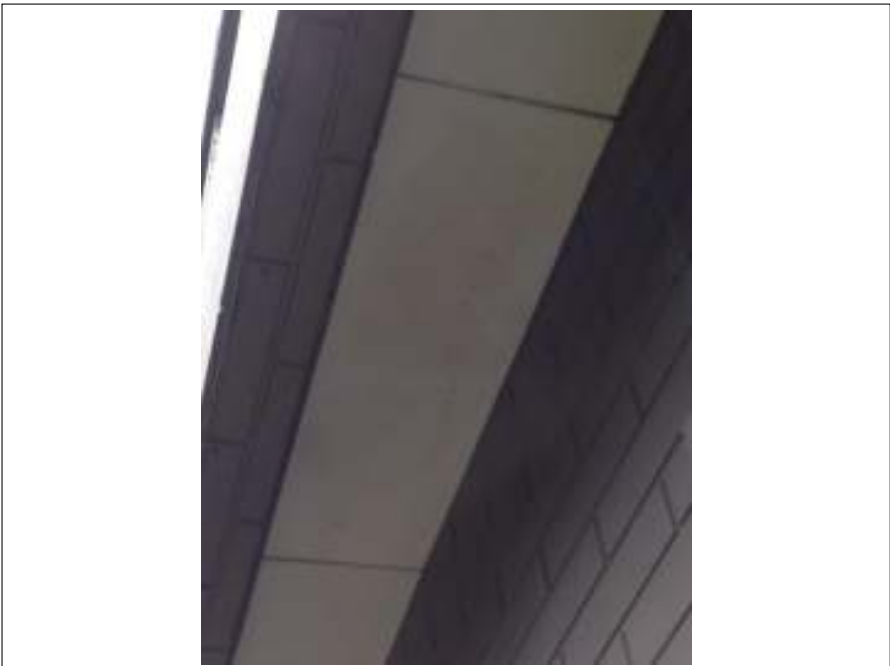
経年劣化しています。

この部分は劣化が進むと、腐食等が  
起こり、塗装で間に合わない場合は  
板金補修が必要になってきますの  
で、痛む前の塗装をお勧めします。



破風

同上



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の  
塗装をしています



## 胴差し

経年劣化しています。

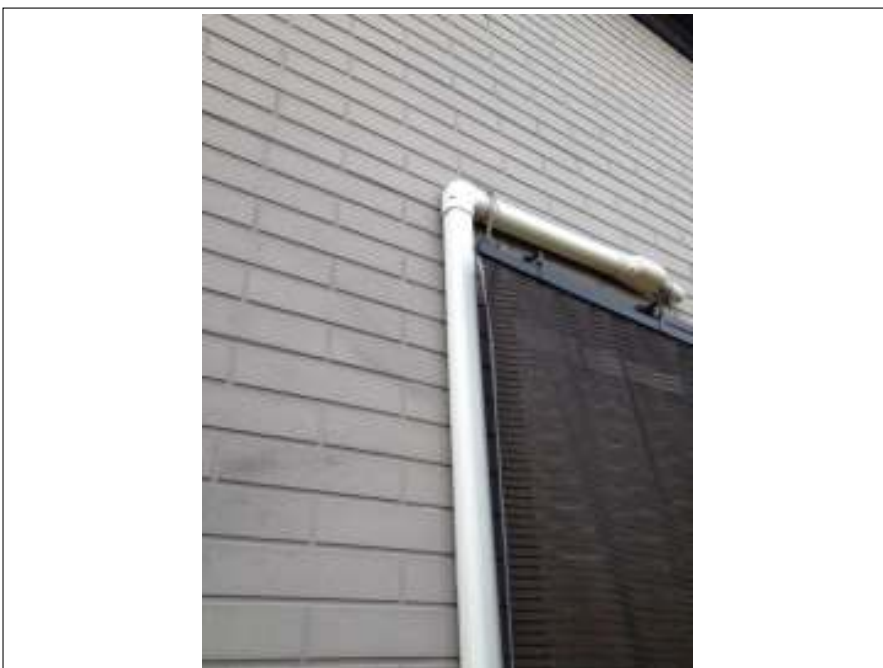
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



## 胴差し

つなぎ目の部分や表面の劣化が目立ちます。

この部分はケレン作業やシーリング補修等で下地処理をおこない、塗装をしていきます。

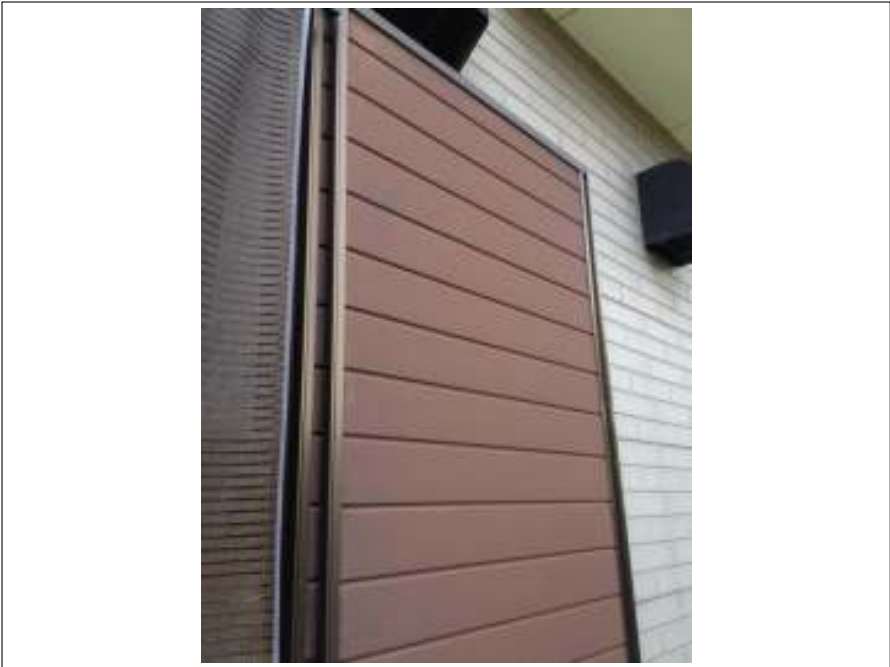


## ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。





雨戸

この部分は鉄、スチール素材になります。

劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



雨戸

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



換気フード

同上



土台水切り

同上



外壁劣化部

外壁の塗膜表面が劣化しております。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁劣化部

同上



### チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をおすすめします。



### シーリング劣化部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修ををおこない塗装をしていきます。



### シーリング劣化部

旧塗膜の剥離が見られます。前回の下塗りが密着しておらず、このまま塗装をしても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、ケレン作業で浮いている塗膜は除去し、補修・塗装をしていきます。



### シーリング劣化部

できる限り、補修をしている旧シーリング材は除去し、新たに補修をおこない、塗装をしていきます。

またサイディングの浮きが激しいようですので、ビス打ち可能箇所は打ってからの塗装をし、美観の補修も行います。



### サッシ周りシーリング劣化部

見落としがちですが、この部分も劣化部はシーリング補修をおこない塗装をしていきます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

